

一日も早く全線が完成しスクールバスが走れる市道に
(市道東浜一堀戸線)
市長 地域の皆さんが安心して通れる道路と対応していく。



中村久幸 議員

自転車歩行者専用道路の整備について

議員 安全面の対策やルールづくり、周知徹底など、取組やお考えを伺いたい。

市長 市内の小中学校、高校生を対象に、自転車運転ルールのリーフレットを配布し、支所にも配置を予定している。

市民への交通安全・交通ルールの啓発活動等を警察署や交通安全協会とも連携しながら、交通ルールの遵守に向けた取組の実施を考えている。

議員 島鉄からの無償譲



自転車歩行者専用道路予定地

渡を決断され、4年前の市長選で、自転車歩行者道の整備を掲げ当選され、早速取り組まれた市長の功績は、後世に残るものと思っている。この功績が後世にどのような評価で残るのか、正念場である。できるだけ安全対策を駆使し、利用者の皆さんが安心して喜んで活用してくださる自転車歩行者専用道路を完成させていただきたい。ただ、どんなに立派な対策やルールをつくっても、利用者の皆さんに活用し、守ってもらわなければ事故は防げないと思うので、理解し、活用し、守ってもらえるような取組をお願いしておきたい。

市道東浜一堀戸線の整備について

議員 現状と今後の予定や計画を伺いたい。

建設部長 国道から約220mの区間は、現在、完成して供用開始している。その先、船落橋入口付近までの約250mの区間の地元説明会も行った。引き続き用地の測量及び補償物件の調査を行い、その後、用地・補償の契約を行い、早期の工事着工を目指していく。

議員 特に関係する10自治会の皆さんも、一日も早く全線完成し、スクールバスが走れるのを楽しみにされている。皆さんの思いは特に強いので、その先の計画も進めてほしい。

建設部長 現在の2工区の事業を行いながら、要望された区間、まだ先は大分長いですが、道路改良事業の予算の確保に努め、できるだけ工事が途絶えることがないように、順次、測量設計等を進めていけたらと考えている。



真砂の休館の理由は
副市長 コロナの影響による利用客の減少により休館している。



田中次廣 議員

原城振興公社の運営について

議員 真砂は2月21日から3月16日まで休館しているが、その理由は。

副市長 まん延防止等重点措置が1月26日から適用されている。これに伴い宿泊客、バスのツアー等のキャンセルが相次いでいる。また、石油等の高騰も影響し、赤字が今後増える可能性があるということ、やむなく休館の判断をした。

議員 営業できる部分もあると思うので、今後検討を願いたい。また休業

による雇用調整助成金、事業復活支援金などの支援制度があるので利用すべきと思うが。
地域振興部長 該当すると思われるものについては、助成を受けるように考えている。



原城温泉 真砂

コロナ感染症に伴う支援金の支給について

議員 コロナ感染症に伴う、支援金の支給範囲の拡大を行うべきと思うが。

市長 現在、飲食店等に営業時間の短縮を要請しており、カラオケ店にも協力を金を支給するようにしている。

議員 このコロナ感染症により、多くの方が影響を受けられている。支給する対象範囲を拡大し、できる限りの支援をお願いしたい。



市政報告について

議員 市政報告に、積み残した課題があると記載されているが。

市長 自転車歩行者専用道路については、今、ハード事業を順次進めているが、課題としては、今後どのように活用していくかということ、また世界遺産に原城跡が登録されたが、世界遺産関連施設の整備を今後進めていくこと、それから深江から口ノ津港までの地域高規格道路の早期事業化、雇用の確保など、これからの課題としては考えているところである。

議員 これまで予算編成については、市民の声を聞き、それを予算化し、実行してほしいということとを発言してきた。市長もそのような方向性で行っていただいているが、まだ市民の方の要望に答えられていない、道路の整備などがある中で、早期に実現できるようにしていただきたい。